



未来の私たちの暮らしを考える

日時 令和4年(2022年)2月16日(水)13時~15時45分
場所 eMIRAIE 環境交流センター



【第1部】13時~ 第15回とよなかエコ市民賞表彰式・活動発表

★刀根山高等学校 生物エコ部「蛍池ホタル復活プロジェクト」

里山や地域の生物調査・保全活動を続ける中、蛍池の由来となったホタルの再生をめざす取り組みを行っている。刀根山小学校保護者や大阪大学生物研究会などの多様な主体と活動を行っており、公民館とも協働し地域の方とホタルの保全活動を行っている。



★合同食品株式会社「食の安心一貫システムの構築」

小さな子供にも本当に安心できる素材と製品づくりを迫及し、材料の生産（川上）から製品づくり（川中）そして商品の販売（川下）まで人に優しい無添加素材を使用するなど環境に配慮した取り組みを行っている。豊中産の無農薬ジャガイモの使用や添加物を使わないなど、食の安全を確保し、製品づくりに取り組んでいる。



★マリンフード株式会社「省エネルギー設備の導入」

会社を挙げて、ハード部門の省エネルギーに取り組んでおり、本社では90%以上のLED化を達成している。また、ハイブリッド車の導入やエコドライブを実践するなど環境に配慮した事業活動を実施している。他にも、美化活動をはじめさまざまなボランティア活動を会社として行っている。



【第2部】14時20分~

豊中市地球温暖化防止地域計画の見直しについて（豊中市環境政策課）

講演「2050年ゼロカーボンシティの住宅とは」（積水ハウス株式会社 木戸一成さん）

★積水ハウス株式会社 環境推進部 温暖化防止推進室 課長

木戸 一成（きど かずしげ）さん



1996年積水ハウス株式会社に入社、広島設計部にて高断熱型商品の開発・普及に携わる。1999年に社内環境プロジェクトに参加し、「環境未来計画」の制作に取り組む。環境推進部創部とともに異動し、環境報告書の作成や環境マネジメント等に従事。2018年から温暖化防止推進室にてシャームゾンZEHの推進を担当。一級建築士。

